



子どもたちにヒンメリを届けよう！

ヒンメリは、フィンランドで親しまれている、藁（わら）に糸を通した手作りの飾りです。もともとは、寒い土地で豊作や幸せを願って作られたものです。現在では、インテリアとしても広く人気があります。

守山区社会福祉協議会が取り組んでいる守山区「ライ麦プロジェクト」では、地域で大切に育てたライ麦を活用し、さまざまな人が参加できる社会貢献活動を行っています。

金城学院大学加藤大樹研究室では、守山区「ライ麦プロジェクト」と協力し、地域の方たちが育て加工したライ麦の藁を使い、KIDS センターに来てくれる子どもたちのためにヒンメリをつくりました。

学生たちが1つ1つ心をこめてつくったヒンメリです。

地域のたくさんの方たちの気持ちもこもっています。

館内でゆらゆらゆれるヒンメリをお子さんと一緒にぜひ見上げてみてください。

お子さんやご家族のみなさまにとってヒンメリのあたたかみが癒しになると嬉しいです。

